

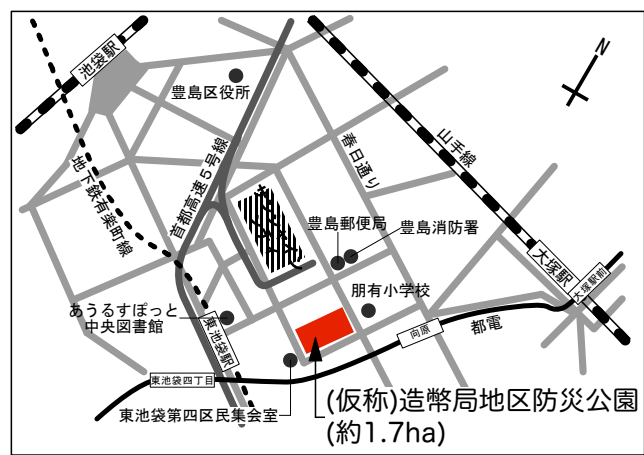
# (仮称) 造幣局地区防災公園 ワークショップ 通信 第1回



豊島区では、造幣局東京支局（東京都豊島区東池袋4-42）の敷地の一部を、防災公園（約1.7ha）として整備する予定です。区では公園の基本的なプランをまとめるにあたり、公園を利用する方の意見を参考にするためにワークショップを行っています。

11月15日（土）に、東池袋第四区民集会室にて「第1回(仮称)造幣局地区防災公園ワークショップ」を開催しました。今回のワークショップは「防災公園ってどんな公園？」というテーマで、公園のイメージや公園の利用などについての意見交換を行いました。

## 計画地の位置



周辺位置図

計画地の現況(航空写真)



・造幣局正門のサクラ



・造幣局出入口のソテツ



・造幣局内部はツツジが多い



## ワークショップの様子

第1回目は、計画地周辺の町会代表と協議会・団体、朋有小学校PTA、公募区民、区内大学の学生の24名の方が参加されました。

まず計画の経緯・計画地と周辺の概要・防災公園について・ワークショップの進め方や今後の予定等の説明があり、その後3つのグループ（造幣局の敷地内にある特徴的な樹木にちなみ“さくら”・“つつじ”・“そてつ”）ごとに公園に期待することや、公園の日常利用と災害時の利用などについての意見交換を行いました。意見をグループごとに発表して、アドバイザー（東京農業大学短期大学部 入江彰昭先生）に意見のまとめをしていただきました。

第1回目にも関わらず、活発な話し合いが行われ、今後が期待される会となりました。また、初回のためいろんな意見が出て、もう少し論点を絞った方が良いとのご意見も頂戴しましたので、事務局でも今後の進め方の参考にさせていただきます。



参加者の皆さんが熱心に説明を聞かれています。

## グループごとの主な意見

### ●さくらグループ

- ・シンボルとなる特徴のある公園にしたい。
- ・公園はボール遊びなど禁止事項が多いので、子供がのびのびと遊べる公園にしたい。
- ・地域のイベント等が出来る公園にしたい。
- ・造幣局のガードマンがいなくなった後の治安面で交番を置いて欲しい。
- ・防犯、安全対策から植栽と見通しの関係性が重要。
- ・公園の住民管理の参加を考えていきたい。
- ・周辺道路には、ゴミの不法投棄や煙草のポイ捨てが多く公園でも留意してもらいたい。



写真：  
意見交換の様子(左)  
書き込まれたマップ(下)

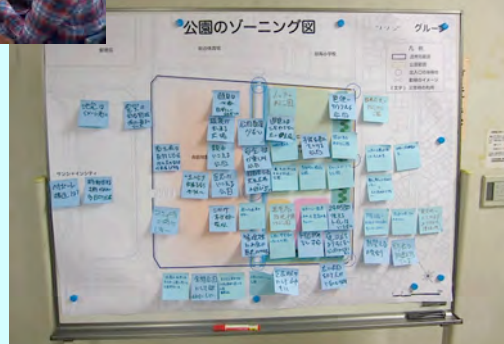


### ●つつじグループ

- ・池袋はイメージが悪いので、きれいでシンボルとなる公園にしたい。
- ・目が届き、子供が安全に遊べる公園にしたい。管理は有人管理が望ましい。
- ・緑陰や草花があり、大人も楽しめる公園。
- ・住民管理の花壇等があるなら参加したい。
- ・トイレは必要だと思うが、24時間の開放は、防犯・安全性から止めて欲しい。
- ・公園が出来上ってからのコミュニティ活動が重要。
- ・管理棟に、ここが造幣局であった歴史が分かるものを置いてはどうか。



写真：  
意見交換の様子(左)  
書き込まれたマップ(下)



### ●そてつグループ

- ・各世代が楽しめ、広い芝生の広場でランニングやボール遊びなど、のびのび利用出来る公園にしたい。
- ・水辺があり季節の花が楽しめ、ピクニックや散歩が出来て、文化の感じられる公園。
- ・昔神社（水窪神社）の縁日で賑わいがあったので、人があつまる公園にしたい。
- ・井戸端会議の場となる公園。売店が近くにあると人が集まりやすい。
- ・災害時にも利用出来る温泉施設（隣接する市街地整備区域でも可）を設けた方が良いのではと思う。



写真：  
意見交換の様子(左)  
書き込まれたマップ(下)



## アドバイザーのお話：東京農業大学短期大学部環境緑地学科 入江彰昭先生

初回にも関わらず多様な意見が上手にまとめられ、皆さんの合意形成の力を感しました。防災公園と言いつつ日常利用も大切で、子供がのびのびと楽しめたり、防犯上の課題をクリアするような公園であって欲しいという具体的なイメージも出されました。地域の歴史を踏まえた意見なども出されていて、今後の計画の参考とし地域の特徴をいかした、ここならではの防災公園になると良いと感じました。